

千葉市 P F I 事業審査委員会委員長コメント

千葉市は、これまでに P F I 事業に対する積極的な取り組みを行ってきた。本市の P F I 第 1 号案件である消費生活センター・計量検査所複合施設整備事業は、本年 9 月に施設を供用したところである。民間事業者による良質な公共サービスの提供に加えて、創意工夫による地域活性化への貢献により、本市の P F I 事業は導入効果を確認できつつある段階に至っている。

本事業は、引き続き厳しい財政状況が続く本市にとって、財政支出の削減及び平準化を図りながら、より質の高い公共サービスを提供していくために、P F I 手法を導入したものである。

「総合評価一般競争入札」により行う事業予定者の選定においては、多くの企業からの関心を受け、最終的には 8 グループから提案書を受けた。いずれの提案においても民間の創意工夫が積極的に盛り込まれている。

各提案とも、事業期間を通じた割賦料及び維持管理、事業運営に係る委託料について、本市の当初の想定を大幅に上回る削減が見込めるとともに、施設の建設、維持管理、事業運営において、より質の高い公共サービスの提供が期待できる内容となっており、本委員会としても各グループの提案にあたっての努力を高く評価しているところである。提案いただいた各グループに対しては、本委員会としても深く感謝申し上げたい。

本審査委員会において落札者決定基準に基づき慎重に審査を行ったところ、最終的な評価結果は、事業期間を通じた割賦料及び委託料の大幅な削減とともに、建設業務、維持管理業務、事業運営業務、事業計画において高得点を獲得した伊藤忠商事グループを全会一致により、最優秀提案として選定するに至った。

なお、当該グループは、市が本事業において最も重要視した事業運営業務についても最も高い評価を得ており、市民をはじめとする施設利用者に対して、良質な公共サービスを提供することが期待できると判断している。

今後、市の落札者決定を経て事業契約を締結のうえ事業を展開していくこととなるが、その際伊藤忠商事グループに対しては、公共サービスのさらなる向上のため、以下の諸点に努めるよう本委員会として期待したい。

教育改革、利用者ニーズなど、社会的変化へ柔軟に対応すること。

自然や文化など、地域と一体化した持続性のあるプログラムを提供するとともに、プログラム成果の教育現場や地域への還元を図ること。

修繕等建築物や設備の保守管理業務、及び警備業務のいっそうの質的向上に努めること。

食事や清掃業務など、利用者が満足する生活環境の提供に努めること。

先進的な国立少年自然の家などの事業成果を事業運営などに反映させること。

事業運営業務などの事業成果を検証し、効果的な教育事業の提供に努めること。

平成 14 年 10 月 5 日

千葉市 P F I 事業審査委員会
委員長 宮脇 淳